

えのうらこう

江の浦港（丸亀市管理地方港湾）

江の浦港は、丸亀港の北西約13kmの海上に浮かぶ広島の南岸に位置し丸亀～広島～小手島～手島を結ぶフェリーが寄港する広島の玄関港として重要な役割を果たしています。広島は塩飽諸島最大の島で周囲約19キロあり、良質の石材産地で島内いたるところで採石丁場を見ることができます。

港湾施設の整備は、昭和35年頃から開始され、昭和40年からは港湾整備5箇年計画の一環として本格整備を進め、江の浦地区、立石地区の整備を始め、平成9年には釜の越地区における小型船対策事業が完成し、現在に至っています。

